

熊本矯正歯科研究会

NEWS LETTER

2013年 第1号(春季)

事務局:おにき矯正歯科クリニック内
〒861-4172 熊本市御幸笛田 1-9-38
TEL 096-334-8211 FAX 096-334-8210
E-Mail yasu1015@hyper.ocn.ne.jp



熊本矯正歯科研究会講演会 (H24. 11. 17 アークホテル熊本)

ご挨拶

熊本矯正歯科研究会 会長 伊東隆三



NEWS LETTER 第1号が2010年秋に発行され、今回が通巻第6号の発刊となります。これも河野賢二広報担当常任理事はじめ各役員の方の先生方のご尽力によるものと感謝申し上げます。早いもので熊本矯正歯科研究会会長に就任し5年が経過しました。残すところ後1年ですが懸案事項に対しまして懸命に取り組んで参る所存です。これまでの熊本矯正歯科研究会の活動状況につきましては、NEWS LETTER を読んでいただけますとおわかりいただけると思います。これまでの懸案でありました熊本矯正歯科研究会会則改正や会長および監事選出規定も理事会で通り、総会での採決を御願いするところまでになりました。

昨年11月17日に開催されました本研究会講演会では特別講演として東京でご開業の中島榮一郎先生をお招きし「お母さんから尋ねられたときに困らない“10”のヒント」と題し素晴らしいご講演をいただきました。“常識は非常識?”あるいは“非常識は常識?”良くあることですが、世の中のお母さんたちは“どっちが常識?”なのか分からなくなっているのが現状です。正しい情報の伝達こそが必要な時代となりました。

ところで、来年度は口腔衛生普及にもっとも熱心な玉東町と3歳から6年生ぐらいまでの児童を対象に①矯正歯科学的な歯科健診、②嚙むことの重要性和カムかむ運動の指導、③食育のための親子教室を行い、不正咬合とむし歯、歯周病との関連などについて啓発活動を進めていく予定です。この実施に対しまして会員の先生方の絶大なる御協力をお願いする次第です。

さて、平成 25 年 6 月 7 日（日）に行われます熊本市歯科医師会主催の「歯の祭典」で熊本矯正歯科研究会を代表して「矯正歯科 お母さんが知りたい“12”のポイント Q&A」のタイトルで講演を行う予定です。お母さんたちが虫歯撲滅に貢献されたように、今度は不正咬合の予防に立ち向かっていただけるような内容にしたいと考えております。会員の先生方の患者や保護者の方にアナウンスをしていただくよう御願いたします。

今後とも熊本矯正歯科研究会のさらなる発展のために会員の先生方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 24 年度後期の主な活動

○ 平成 24 年度 第 6 回～10 回常任役員会・第 4・5 回理事会

毎月一回、常任理事による役員会、3 か月に一回理事会を行ない、熊本矯正歯科研究会としての活動や会計状況、熊本県における矯正歯科普及について検討しています。研究会がより発展し、会員の先生方に役立つような会になるように伊東会長を中心に協議しています。

以前より常任役員会では、学校健診における矯正歯科健診の導入やそのガイドライン作成を目指して取り組んでおります。現在、健診表を作成するとともに、試験的な導入を玉東町で実施できるよう地区職員の方々と協議を行っております。また、昨年度より矯正症例相談会も数回開催することができましたが、より気軽に矯正臨床の相談の場として発表できるように検討しております。研究会がより充実・発展するためにも、更なる会員の勧誘が必要と考えられますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成 24 年 10 月 22 日に第 4 回理事会、平成 25 年 1 月 28 日に第 5 回理事会が開催されました。直近に行われた第 5 回理事会の内容は以下の通りです。

（平成 24 年度第 5 回理事会主旨）

1) 報告および審議事項

- 九州矯正歯科学会について：本会が熊本支部を兼務している九州矯正歯科学会の北九州大会が平成 25 年 2 月 2 日、3 日に開催されました。本会より伊東会長が懇親会に参加し、支部紹介を行いました。
- 春の講演会について：平成 25 年 5 月 11 日に予定している春の総会・講演会の演者は篠原正徳・熊本大学医学部教授に決定いたしました。
- 会費について：20 名の会員の会費未納（平成 24 年度分）があります。2 年間にわたり会費未納の場合は規定により退会扱いになります。
- ホームページについて：本会ホームページの今後の有効活用および更新方法について協議しました。

2) 議 題

- 会則改正について：現執行部の任期が今年度で終了するため、平成 25 年の秋にはそれに伴う次期会長選挙を行う必要があります。現在 94 名の会員が在籍しているにもかかわらず、会長選挙に対する選挙管理委員会についての会則がありません。理事会では、選挙が公平に行われるよう会則を改正する素案を検討しております。平成 25 年 5 月に予定している春の総会で審議することとなりました。
- 矯正歯科健診ガイドラインについて：玉東町における矯正歯科健診についてガイドライン作成の協議を行いました。※玉東町は熊本県内でも最も虫歯予防に力を入れている地区であり、また同町の担当保健師の方も協力的です。今後、同町の約 460 名の児童を対象に学校健診と同時に矯正歯科健診を実施できるよう働きかけています。
- 歯の祭典について：平成 25 年 6 月 9 日にウェルバル熊本にて熊本市歯科医師会主催「歯の祭典」が予定されております。本会から、矯正歯科相談に出務することになっています。毎年、矯正歯科相談のコーナーには多くの相談者が来場されます。したがって担当者を増員して対応することになりました。

○ 平成 24 年度 秋の講演会と忘年会

去る平成 24 年 11 月 17 日に秋の講演会と忘年会が開催されました。講演会は、多数の矯正歯科関連書の執筆で知られる東京都ご開業の中島栄一郎先生に「誰にでもわかる矯正治療の落とし穴！」を講演していただきました。忘年会は会員の先生のみでなく、中島榮一郎先生、歯科関連業者の方、スタッフの皆様方など多くの方にご参加いただきとても盛り上がりました。ありがとうございました。



講演内容

1. お母さんから尋ねられた時に困らない“10”のポイント
2. 不正咬合の芽を早期につむヒント 吸綴～咀嚼の完成まで
3. 歯はなぜその位置にあるのでしょうか？ コンタクトポイントの意義
4. 矯正治療の可能性を求めて 脳機能と咀嚼・リラックスを防ぐためのPNF
5. 装置力を知ろう サジタルアライアンス・バイオテンプレート・パイオネーター
6. まとめ

わかりやすく項目ごとに臨床例などを織り交ぜお話していただきました。



先生の講演では、第一大臼歯の位置となぜその位置にあるのかまで検討されています。最近では、矯正用インプラントの波及により大臼歯を含めた歯の移動が可能になってきていますが、そのような観点からも治療計画を検討する必要があるのかと痛感いたしました。また、乳歯の時期から治療の必要性のある症例には、積極的に早期から治療を行われているとのことでした。早期から始めたほうが良いと思っても、永久歯交換後に新たな問題が発生し治療期間が長くなることを考えると踏み切れない場合があります。短期間で終わらせようとせず、先生のように、吸綴から永久歯までの長期スパンに渡った考えかたをしていく必要を感じました。

質問の時間には、会員の先生のご息なども質問をされ、和やかな講演会になりました、項目以外にも、普段臨床で感じられている現在の矯正歯科医療の問題や先生のプライベートのお話まで交えられて、すごく楽しく聞かせていただけました。

ありがとうございました。



忘年会スナップ



近藤俊輔先生
ご結婚おめでとうございます。
お幸せに。



今後の予定とお知らせ

- 平成 25 年 5 月 11 日（土）にアークホテル熊本で平成 25 年度熊本矯正歯科研究会の理事会、総会、春の講演会を行います。懇親会も予定しておりますので、スタッフの方もお問い合わせの上ぜひご参加ください。

春の講演会：「当科における顎変形症患者の外科的矯正手術について」篠原正徳先生（熊本大学医学部教授）

- 春の講演会の前に症例相談会を行います。ご希望の先生は、お気軽に事務局までご連絡ください。
- 会費未納の会員の先生方は早急に納入ください。

（編集；広報担当常任理事 河野賢二）

NEWS LETTER は、ホームページからもご覧いただけます。
熊矯ホームページは、 <http://kumakyouseiken.com/> です。

